



## 概要

### ○初心者・年配者・障害者への配慮

本研究では、初心者・年輩者の状況を考慮した配車、障害者駐車区画の不正利用の防止、混雑時の空き区画への案内のためのユビキタス駐車管理システムの構築を試みる。

### ○利用者の状況に応じる誘導

RF-ID技術とセンサ等の自動認識技術を活用し、利用者と駐車場の状況を把握し、利用者の車と駐車区画の間とのマッチングを行う。

駐車区画は利用者の利用や要望の履歴に基づき選出される。

### ○模型による動作の確認

すでに実際の駐車場の1/1000の縮尺で駐車場の模型を作成し、様々な駐車場の状況と利用者の状況を想定し、設計された機能が基本的に作動することが確認できた。

## 実用化の可能性

### ○気の利く駐車場

製品像として利用者（特に障害者・初心者・年配者）の状況に応じて、気の利く配車システムと駐車場内の案内システムを目指す。

### ○ユーザプライバシーへの配慮

処理の遅延、ユーザプライバシーへの配慮と利用者への案内が実用化のボトルネックになっており、解決すれば実用化が可能となる。

## UBICからのメッセージ

○本研究はユビキタス駐車場の実現を目的とするもので、利用者の状況と駐車区画の状況とをコンピュータが把握し、利用者が最も駐車し易い場所に車を誘導しようとするものです。

○初心者、年配者等の運転弱者とも言えるドライバーおよび、身障者が乗車している車にとって福音となることは明らかです。

○また、実用化するとき、本実験の結果を活用し、身障者の駐車区画に健常者による不正利用が発生したことを検出・警告することにより、身障者の駐車区画の確保にも役に立ちます。

## 研究概要図

